

「小川ゆうじの読書たより」

小川吉開 検

田尻町支部党活動募金
1口200円のお願い

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

1月の弁護士相談は、
13日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要です

今年もがんばります。
ご愛読をよろしくお願ひします

巨大災害研究で第一人者 関大 河田教授の講演を聴きました

6日、午後1時半から田尻町のふれ愛センターで忠岡、熊取、田尻、岬の4町の南部議長会主催による防災研修会がありました。「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」座長など中央防災会議委員で阪神・淡路大震災記念「人

と防災未来センター」長の関西大学教授 河田恵昭教授の熱のこもった最新情報をつかった講演を聴きました。現在、日本の巨大災害対策の第一人者の教授のお話であり、息をのむ思いで聴きました。

災害規模がさらに大きく想定されつつある3連動地震

東海・東南海・南海の3つの地震の震源域は、四国から九州側への地層のすべり込みも大きく規模がさらに大きく想定されつつあります。

M9以上の地震が起こる可能性もあること

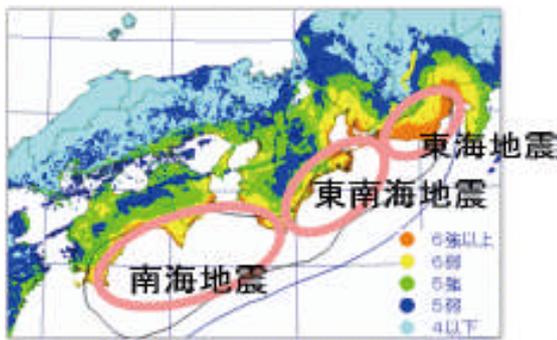
と、地震が起これば津波は「5層のものがくる、ではなく、5層以上のものがくる」と思い、「ハザードマップでは、ここは災害がくる範囲ではないから大丈夫と思わず、逃げなければならない」ということです。



橋下元知事にWTCへの府庁舎移転をあきらめさせた巨大災害研究で第一人者 関西大学 教授 中央防災会議委員 河田恵昭氏と

河田教授の講演を聞いてみなさんに第1に伝えたいこと

- 堆積層が厚い大阪は巨大地震発生で3分くらいは揺れる
- 田尻で津波到達まで約1時間。津波は大阪湾内で反復し、太平洋側よりも大きくなる
- 想定されている「5層の津波がくる」ではなく、「5層以上のものがくる」と考えて被害想定区域外であっても逃げる
- 津波からは6時間は避難すること



後援会ニュースをお届けします

2月12日(日)「新春のつどい」を開催

午前10時～昼1時 吉見集会所 会費500円
党大阪府委員会副委員長 清水ただしが来ます

町営砂山住宅 一般世帯向け 203号を募集 16日まで

申込み資格：収入基準内・田尻町に在住か通勤など
申込みは：役場別館 都市政策課において
申込書に記入し、都市政策課に提出

田尻町で新成人は68名 過去最小数

1991年生まれの新成人は、田尻町で68名、式に出席は45名でした。今年も新成人全員が合唱しました。曲目は、ゆず「栄光の架け橋」。今年はビデオ収録できず、残念。小川家は、3男坊が大学2年生で新成人となり、3人とも成人しました。

「想定外」をなくし対策をたてること 河田教授

巨大災害に対して人間はどうすればいいのでしょうか？

オランダは1万年に1回の災害を想定して対策されています。長い期間を前提にして「想定外」をなくし対策をたてることです。

政府は、現在、全国的な防災減災予算として1兆円組んでいますが、積極的に知恵を出し自治体が手を挙げ対策をおこなっていくことが必要です。そして物理的には多重防護システムづくり、

つまり防潮堤、鉄道を上げる、中途半場じゃない高台移転など、海南市は3万5千人の市民全員を順序立てて山に逃がす対策をたてて、その道路整備をする計画です。住民に対してくり返しくり返し働きかけていくこと、決して自分の世代だけがよかつたらいいのではなく子々孫々の世代も考えていくこと、課題を明確にして戦略的に解決の道筋をたてていくことです。